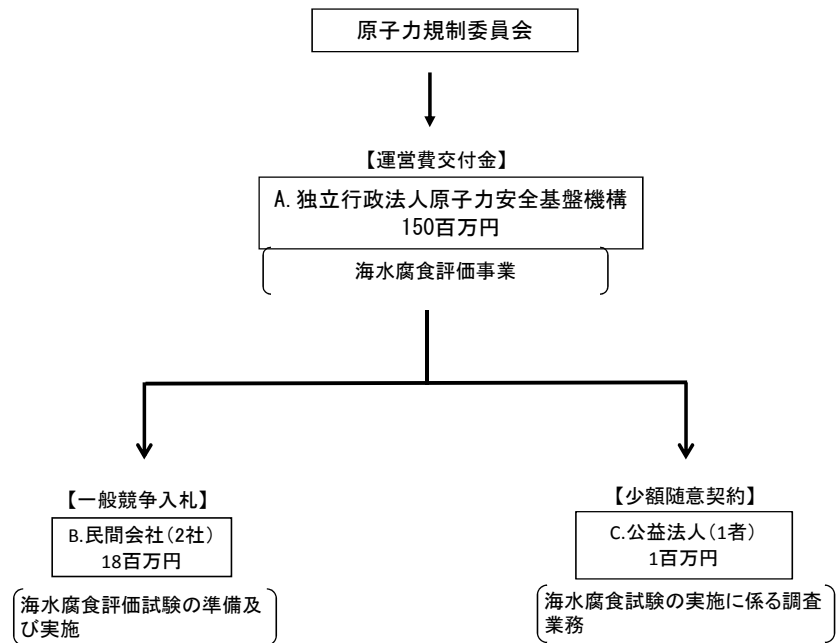


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	海水腐食評価事業 (運営費交付金)		担当部局庁	原子力規制委員会原子力規制庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成26年度		担当課室	安全規制管理官(BWR担当)	安全規制管理官(BWR担当) 山形 浩史			
会計区分	エネルギー対策特別会計(電源開発促進勘定)		政策・施策名	いずれの施策にも関連しないもの				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・法律:特別会計に関する法律第85条第6項 ・政令:特別会計に関する法律施行令第51条第7項第16号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東京電力福島第一原子力発電所における事故対応において、海水に晒された原子炉格納容器、使用済み燃料プール及び冷却系配管等についての腐食挙動を明らかにすることにより、同発電所における設備・機器の健全性の評価及びその維持のための対策の妥当性を判断するための規制基盤を整備し、適切な規制活動の実施を通じた同発電所の安全性向上に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業は、原子炉格納容器、使用済み燃料プール及び冷却系配管に関する海水含有環境等での腐食挙動について、実際に晒されている環境を模擬した条件下で腐食試験等を実施し、以下の腐食データベースの整備を行う。また、その結果を基に設備・機器の健全性を評価する際の評価手法の妥当性について検証を行う。 ①原子炉格納容器及び炭素鋼配管の腐食データ ②ステンレス鋼の腐食データ ③アルミニウム合金材の塩化物イオンを含むアルカリ腐食データ							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算			150	100	80	
		補正予算						
		繰越し等						
	計				150	100	80	
	執行額				150			
執行率(%)				100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	海水に晒された原子炉格納容器、使用済み燃料プール(燃料ラックを含む)及び冷却系配管の健全性確保のために事業者が実施する腐食影響評価及び対策等の妥当性を規制当局として判断するために有効な根拠データ(腐食データベース)の整備		成果実績	分野数	-	-	1	1
		達成度	%	-	-	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	事業成果報告書等の発行件数		活動実績 (当初見込み)	報告書数	- ( )	- ( )	1 ( 1 )	- ( 1 )
単位当たりコスト	20(百万円/件)		算出根拠	「単位当たりコスト=X/Y」 Xは、平成24年度執行実績 20(百万円) Yは、平成24年度成果報告書発行件数(活動実績、1件)。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸経費	3	2	炭素鋼配管実規模腐食試験装置の制作終了による減。				
	技術調査費	8	15					
	設計費	8	4					
	試験費	68	59					
	制作費	13	0					
	計	100百万円	80百万円					

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	東京電力福島第一原子力発電所における安全規制を実施するために規制当局として有しておくべき根拠データの整備事業であり、国自らが実施することが必要である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	外部委託契約に際しては競争性が確保された契約方法により実施するとともに、事業支出についても腐食影響評価に係るデータベース構築に直結する費目に限定されていることを確認した。 また、原子力安全基盤機構において執行額が低くなった原因については、「原子力発電所関連機器における海水腐食影響」という国際的にも極めて知見が少ない分野における研究であるため、外部有識者によるレビューも含めた試験条件の設定等に際して、当初想定していたよりも時間を要し、その結果として試験装置の制作等に至らなかったものであることを確認した。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業の進捗が遅れ、一部翌年度に実施することとなった。そのため、外部有識者による評価(レビュー)の結果も踏まえ、有効な成果物を得るべく、適宜試験計画等を修正しつつ対応していることを確認した。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名	
点検結果	東京電力福島第一原子力発電所の安全性の向上は、原子炉等規制法に基づき実施する重要な規制活動の一つであり、当該事業について引き続き国自らが規制当局として実施する必要があること、外部委託に際して競争性が確保されるなど事業の効率性が保たれていること、及び外部有識者の活用等による有効性の確保が図られていることを確認した。 一方で、事業分野自体が国際的にも極めて知見が少ない分野における研究であったため、当初想定よりも試験条件の設定等に時間を要し、工程の一部が後ろ倒しになっているところであり、最終的に有効な成果物が適切な時期に得られるよう引き続き執行状況について注視する必要がある。 なお、後ろ倒しになった工程に関しては、計画の見直しにより、平成24年度に執行されなかった交付金を平成25年度に使用する予定であることを確認した。					
外部有識者の所見						
<ul style="list-style-type: none"> <li>国の原子力政策における原子力規制委員会のミッションを踏まえ、原子力規制委員会の政策・施策体系における当該事業の位置づけをしっかりと認識し、事業を遂行すること。</li> <li>事業の執行状況を見る限り、海水腐食に係る危機感が感じられない。本事業の緊急性に鑑み、迅速に事業を遂行すること。</li> <li>原子力安全基盤機構における執行状況をしっかりと把握し、事業が適切に実施されるよう、必要な指示を行うべき。</li> <li>事業の進捗が遅れているにも関わらず、事業の有効性の自己評価が「○」になっている。自己評価の妥当性について確認し、見直しを行うこと。</li> </ul>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	事業の緊急性に鑑み、迅速に事業を遂行すること。原子力安全基盤機構の執行状況も把握しつつ適切な事業実施に努めること。自己評価の内容について、再度精査を行うこと。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	事業の緊急性及び前年度の原子力安全基盤機構の執行状況を鑑み、当初の予定どおり事業が終了できるよう、計画の見直し、効率的な試験の方法等の検討を行った。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	新24-37

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

**費目・用途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と用途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.独立行政法人原子力安全基盤機構			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
請負事業	B.民間会社(2者)	18			
請負事業	C.公益法人(1者)	1			
その他	旅費、講師謝金、図書費等	1			
計		20	計		
B.株式会社東芝			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
請負事業	平成24-25年度海水を含む冷却水環境 中における炭素鋼及びアルミニウム合金の 腐食挙動評価(平成24年度分)	12			
計		12	計		
C.公益社団法人腐食防食学会			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
請負事業	平成24年度福島第一原子力発電所使用済 み燃料プールにおける腐食事象に関する調 査業務	1			
計		1	計		
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A. 独立行政法人原子力安全基盤機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人原子力安全基盤機構	海水腐食評価事業	150	—	—

B. 民間会社(2者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社東芝	平成24-25年度海水を含む冷却水環境中における炭素鋼及びアルミニウム合金の腐食挙動評価(平成24年度分)	12	2	84
2	JFEテクニサーチ株式会社	平成24年度海水を含む環境中におけるステンレス鋼の腐食挙動評価	6	2	60

C. 公益法人(1者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人腐食防食学会	平成24年度福島第一原子力発電所使用済み燃料プールにおける腐食事象に関する調査業務	1	少額随契	—